



LÈONUS TOSCANA ROSSO

レオナス・トスカーナ・ロッソ

イチゴやラズベリーなどの赤い果実の中にクリーミーなミネラルのヒントを感じる。上質なタンニンにフィニッシュはフレッシュ。バランスの取れたミディアムボディのワイン。

タイプ
赤／ミディアムボディ
ぶどう品種
サンジョヴェーゼ
原産地呼称
I.G.T.
熟成
スラヴォニア産オーク樽にて5か月

750ml × 6 4948657 403705

750ml ￥3,000



BRUNELLO DI MONTALCINO LA MANNELLA

ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ・ラ・マンネッラ

ラ・マンネッラの単一畑。ドライチェリーやブラックカレント、プラムなどのブラック系果実が、トーストアーモンドやハーブなどの優しいスパイスのニュアンスへと繋がる。甘いチェリーのアフターフレーバーが心地よい。

タイプ
赤／フルボディ
ぶどう品種
サンジョヴェーゼ
原産地呼称
D.O.C.G.
熟成
スラヴォニア産オークの大樽にて36か月

750ml × 6 4948657 403729

1500ml × 1 (木箱入) 4948657 403750

750ml ￥8,800/1500ml ￥20,000



BRUNELLO DI MONTALCINO RISERVA

ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ・リゼルヴァ

ラ・マンネッラの単一畑の最も古い（樹齢37年以上）サンジョヴェーゼから造られるブルネッロ・ディ・モンタルチーノ・リゼルヴァ。ブラックプラムやブラックチェリー、カシスに、スパイス、甘いタバコ、バルサム系ハーブなどの香りが複雑に混ざり合う。グレートヴィンテージイヤーのみの生産。

タイプ
赤／フルボディ
ぶどう品種
サンジョヴェーゼ
原産地呼称
D.O.C.G.
熟成
スラヴォニア産オークの大樽にて48か月

750ml × 6 4948657 403743

750ml ￥23,000



ROSSO DI MONTALCINO

ロッソ・ディ・モンタルチーノ

ラ・マンネッラの単一畑。2011年に植樹された最も若いサンジョヴェーゼ。赤いベリー系果実やアーモンド、プラムなどの芳しい香り。しっかりとしたストラクチャーで、ラ・マンネッラの中でも個性が際立ったワインのひとつ。

タイプ
赤／ミディアムボディ
ぶどう品種
サンジョヴェーゼ
原産地呼称
D.O.C.
熟成
スラヴォニア産の30Hlのオーク樽にて12か月

750ml × 6 4948657 403712

750ml ￥4,200



BRUNELLO DI MONTALCINO POGGIARELLI

ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ・ポッジャレリ

ポッジャレリの単一畑。ブラック系果実やバルサム系ハーブの香り。しっかりとしたタンニンと瑞々しい酸味に続き、ガレストロ由来の火打石や礫岩のニュアンスが広がる、モンタルチーノのテロワールを感じられるワイン。

タイプ
赤／フルボディ
ぶどう品種
サンジョヴェーゼ
原産地呼称
D.O.C.G.
熟成
500Lのフランス産オークのトノーで24か月

750ml × 6 4948657 403736

750ml ￥16,000

ブルネッロの若き伝承者

コルトネージ家は代々モンタルチーノで農家を営み、ワイン造りを行ってきました。現在は若き当主でエノロゴのトンマーゾが、父マルコと二人三脚で家業を継いでいます。トンマーゾの祖父が1970年代に購入した56haを超える所有地のうち、モンタルチーノの北地区でワイナリーが拠点を構えるラ・マンネッラを中心に、南東地区のカステルヌオーヴォ・デッラバーテのポッジャレリの約8haのブドウ畑からブルネッロ・ディ・モンタルチーノが造られています。

一家は1990年から瓶詰をスタート。当初は2つ畑のブドウをブレンドしたワインを生産していましたが、1998年、父マルコが、この2つ畑のキャラクターがまったく違うことに気づき、それぞれの畑の個性を活かしたワインを造ることを決心。「クラシックなブルネロ」という位置づけの北のラ・マンネッラと、「新しいブルネッロ」の南東のポッジャレリ、対照的なワインが生まれたのです。

ラ・マンネッラは、標高280～350mで粘土質と石灰質成分とが混じった土壌で、昼夜の寒暖差がワインのアロマに複雑性やエレガントさ、上質さを与えます。一方ポッジャレリは、標高420mの水は

けのよい砂質で豊富なガレストロ（泥灰土が薄く何層にも重なった土壌）、温暖な気候が特徴で、バランスの取れた味わいのワインを生み出します。すべての畑ではサンジョヴェーゼのみが栽培されています。ブドウの収穫、選別はすべて手作業、ワイナリーではそれぞれの畑のブドウの個性に合わせた醸造が行われています。

醸造コンサルタントにパオロ・カチオルナを迎え、2017年にはワイナリー名を「ラ・マンネッラ」から、家族の名前である「コルトネージ」に改名、さらなる躍進を続けます。トンマーゾはモンタルチーノの中でも若い当主という立場から、ブルネッロの次世代を支える活動にも尽力しています。

彼らの高品質でレベルの高いワインを生み出す秘訣は、何世代にもわたり注いできたサンジョヴェーゼ栽培への情熱と経験。それを親から子へ、そして次の世代へと確実に継承することによって他なりません。家族の誇り、そして家族を育んでくれたモンタルチーノとサンジョヴェーゼへの賛美を胸に、今日も伝統を受け継ぎながら未来へ繋げるワイン造りに勤めます。

